

研究者情報

氏名	佐藤 佳子
役職	准教授
所属	キャリア教養学科
最終学歴	京都大学大学院理学研究科地球惑星科学専攻 博士後期課程修了
学位	博士（理学）
専門分野	広い意味での情報科学、地球環境科学、地球年代学
所属学会	AGU, JPGU, EGU, 日本地球化学学会、日本火山学会、日本地質学会、日本質量分析学会、同位体化学会
主要担当科目	情報演習 I、情報演習 II、情報リテラシー、情報サービス演習、アカデミック・スキルズ、キャリアデザイン III
研究課題海洋	地球科学（大気・海洋・地質）関連の分析データベースやフィールドサイエンスのデータを使用した地球環境の分析解析やデータの可視化等

研究業績／教育実績(主な著書・論文)

区分	著書・論文名等	発行所・掲載誌(書)・著書等	発行等年月
論文	野崎達生・佐藤佳子・熊谷英憲・島田和彦・石橋純一郎・加藤泰浩、「徳島県高越および愛媛県伊予別子型鉱床のフェンジャイト K-Ar 年代：Re-Os アイソクロン年代との比較」	資源地質, 72(1), 13~20	2022
論文	熊谷英憲・佐藤佳子・清水家齊、「地質資料の局所微量希ガス同位体分析」	専修自然科学紀要, 53, 29-31	2022
論文	佐藤佳子、熊谷英憲、「非放射化でスパイクを用いないレーザー溶融 K-Ar 年代測定法によるパイライトの単粒子測定を試み」	岡山理科大学フロンティア理工学研究所紀要 (印刷中)	2022
Report	Hyodo, H., Sato, K., Kumagai, H. and Takamiya, K., "Metamorphic age of Acasta gneiss and regional cooling history"	KURNS Progress Report 2021, 156.	2022
論文	H.Sato, S.Machida, R.Senda, K.Sato, H. Kumagai, H.Hyodo, S.Yoneda, Y.Kato, "Granitoids from the present Southwest Indian Ridge spreading axis: Implication for the distribution of iceberg-delivered dropstone	Polar Science, Elsevir (2021, .June 22th accepted, Manuscript Number: POLAR-D-21-00029R1) <a href="https://doi.org/10.1016/j.polar.2021.100725">https://doi.org/10.1016/j.polar.2021.100725</a>	2021

	in the Indian Ocean”		
特 許	佐藤佳子、熊谷英憲「ガス分析用前処理装置及びガス分析用前処理方法」	特許第 6765117 号	2020
R e p o r t	H. Hyodo, K. Sato, H. Kumagai, K. Takamiya , “Formation age of Precambrian metamorphic rocks and thermal history”	KUR Report, CO5	2020
論 文	T. Nozaki, T. Nikaido, T. Onoue, Y. Takaya, K. Sato, J. Kimura, Q. Chang, D. Yamashita, H. Sato, K. Suzuki, Y. Kato, A. Matsuoka, “Triassic marine Os isotope record from a pelagic chert succession, Sakahogi section Mino Belt, southwest Japan”	J Asian Earth Sciences: X, <a href="https://doi.org/10.1016/j.jaesx.2018.100004">https://doi.org/10.1016/j.jaesx.2018.100004</a>	2019
R e p o r t	H. Hyodo, K. Sato, H. Kumagai , “Thermal history of Early Archean metamorphic rocks”	KUR Report, CO5	2019
論 文	Francisco J. Jimenez- Espejo, Antonio Garcia-Alix, Naomi Harada, André Bahrd, Saburo Sakai, Koichi Iijima, Qing Chang, Keiko Sato, Katsuhiko Suzuki, Naohiko Ohkouchi,, “Changes in detrital input, ventilation and productivity in the central Okhotsk Sea during the marine isotope stage 5e, penultimate interglacial period”	Journal of Asian Earth Sciences, 156, 189-200, <a href="https://doi.org/10.1016/j.jseaes.2018.01.032">https://doi.org/10.1016/j.jseaes.2018.01.032</a>	2018
R e p o r t	H. Hyodo, K. Sato, H. Kumagai, “Thermal history of Precambrian metamorphic rocks”	KUR Report, CO5, 29112pp.	2018
技術レポート	佐藤佳子・熊谷英憲、「希ガス同位体分析の阻害要因除去法」	JAMSTEC シーズ集,pp47	2018
論 文	佐藤佳子, 榊田拳, 齋藤詩乃, 管家拓巳, 江本久雄, 熊谷英憲, 「福島高専における環境中の土壌試料の放射線計測の試み」	福島工業高等専門学校研究紀要, 59, 37-44	2018
特 開	佐藤佳子・熊谷英憲、「ガス分析用前処理装置及びガス分析用前処理方法」	特開 2017-106903	2017
論 文	江本久雄、十亀 陽一郎、佐藤佳子、「橋梁目視点検時の環境放射能の安全性に関する研究」	福島工業高等専門学校研究紀要, 58, 47-52	2017

特 願	佐藤佳子・熊谷英憲、「熱水 のための希ガス精製システ ム」	特願 2016-217844	2016
海外特許出 願	K. Sato, H. Kumagai, "Preprocessing apparatus and method for gas analysis"	ヨーロッパ特許新出願 EP16201675.2	2016
技術レポー ト	佐藤佳子・熊谷英憲、「ガス 分析用前処理装置及びガス 分析用前処理方法」	JAMSTEC イノベーションニュース 2016	2016
論 文	K. Sato, H. Kawabata, D. W. Scholl, H. Hyodo, K. Takahashi, K. Suzuki, H. Kumagai, " <sup>40</sup> Ar- <sup>39</sup> Ar dating and tectonic implications of volcanic rocks recovered at IODP Hole U1342A and D on Bowers Ridge, Bering Sea"	Deep Sea Research II, doi://10.1016/j.dsr2.2015.03.008	2016

※ 上記は最近の研究のものを記載。

※ 過去数十年の研究論文・プロシーディング・学会発表等については、国立研究開発法人科学技術振興機構の研究者データベース「research map」のポータルサイトを参照。

#### 主な社会貢献活動

社 会 貢 献 活 動	活動年月日
<講師等>	
一般公開・サマースクールでの講師・海洋大学講師 等	2001.4-2020.12
ロシア・ハバロフスク地質テクトニクス研究所特別講演 講師	2004.1
高知大学高知コアセンターにて特別セミナー	2008.9
山形大学での女性研究者裾野拡大 講師	2011.7
ロシア・ハバロフスク地質テクトニクス研究所で特別講演 講師	2012.9
ロシア科学アカデミー・ハバロフスク支部学会での招待講演 講師	2013.7
専門情報処理 集中講義 (高知大学理学部)	2018.9
いわきヒューマンカレッジ (いわき市民大学) 講師	2019.10
放射線管理学概論 集中講義 (福島高専)	2017-2021
環境・安全学演習 集中講義 (福島高専)	2017-2021
<そのほかの社会活動>	
文科省 放射能 土壌調査 現地放射能調査支援 (福島～名取)	2011.7
文科省 放射能 土壌調査公表 現地放射能調査協力	2013.10
ゴールドシュミット国際会議への震災忘却防止のための音楽関連イベントの交渉	2015.5
官民・地域連携関連の委員会 (横浜国立大学および海洋研究開発機構の産学連携)	2017.5
特別研究員等審査委員会、専門委員及び国際事業委員会書面審査員・	2017.7—2018.7

書面評価員	
福島環境創造センターシンポジウムで原子力規制人材育成事業の福島高専の取り組みについて紹介	2018.12
<海洋研究開発機構・福島高専内・京都大学・福島高専 WG 等>	
京都大学大学院理学研究科地質学鉱物学教室ネットワーク環境整備	1998-2000
京都大学大学院理学研究科地球熱学研究施設内のネットワーク環境整備	1998-2000
ネットワーク接続に関する学生向けマニュアル展開	1998-2000
分析解析スペースワーキンググループ	2001.4-2003.3
IFREE パンフレットワーキンググループ	2001.4-2003.3
化学分析ワーキンググループ	2002.4-2004.3
グーグルアース用地球化学・地球物理データの可視化	2004.4-2006.3
図書運営委員会	2001.10-2005.3
科学雑誌等の電子データベース導入 WG	2001.10-2005.3
図書部会	2001.10-2005.3
マシンショップワーキンググループ	2002.4-2004.3
データ管理部会	2006.4-2010.3
海洋コアワーキンググループ	2006.4-2010.3
データ管理委員会・情報管理委員会	2011.7-2016.12
学科内FD委員会	2017.4-2021.3
FDネットワーク会議	2017.4-2021.3
原子力規制人材育成事業関連会議	2017.4-2021.3

※ 海外の共同研究、国内の共同研究、IODP・ODP、学会支援・シンポジウム支援などはこのリストに含めていない。